

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人山口県共同募金会

<はじめに>

共同募金運動は、令和2年度で74回目となりました。こうした時に、世界は前例のない新型コロナウイルス感染症の流行に見舞われ、我が国においても緊急事態宣言の発出などによる社会経済活動の制限により、失業や収入の減少などが発生し、多くの方が経済的な困窮に見舞われました。

本会においては、こうした方々を支援するために、いち早く5月に、1000世帯への食品提供を行うフードバンク山口に対して助成を決定するとともに、中央共同募金会と連携した「赤い羽根子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン」では、子ども食堂などの活動を支援するため、6月以降2回にわたって延べ70の団体に助成を行い、本年1月からは本県独自の取組として42団体に助成を行いました。

また、本会の運営では、昨年6月の理事会及び評議員会については書面での開催としたところです。さらに、県域助成を決定した事業については、研修会や会議などが開催できず返還となった助成金は1,225万円余に上り、地域助成においても2,026万円余が執行できないなど、大変大きな影響がありました。

こうした中で共同募金については、街頭募金やイベント募金の実施が困難になるとともに、高齢化の進展や人口の減少などの影響を受けて募金総額は前年度に比べて約3,756万円減少の3億3,396万円余となりました。前年度は例外的な相続寄付3,000万円による寄付金額の増額がありましたので、これを差し引いても約756万円の減少であり、共同募金を巡る厳しい状況は継続しています。

一方、県域の公募助成については、一定の募金額が確保できたことから、41事業に対して助成ができ、概ね要望にお応えする内容となりました。また、災害等準備金については「令和2年7月豪雨災害」の支援のために200万円を拠出したところです。

共同募金を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、本会としては、今後とも、市町共同募金委員会と一体となって、誰もが住み慣れた地域で社会の一員として安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指し、平成30年3月に策定した「共同募金の運動性の再生10年方針」に沿って共同募金運動を積極的に推進します。

1 共感できる募金の推進

地域の解決すべき課題等を把握し、しっかり示した上で、従来の戸別募金や職域募金等について丁寧に説明するとともに、従来の募金方法に加え「募金百貨店プロジェクト」や「テーマ募金」などの新たな募金手法に取り組みました。

(1) 明確に説明できる目標額の設定

共同募金は計画募金であり、市町共同募金委員会の資金ニーズの取りまとめや公募による助成申請額等を踏まえて目標額を設定しました。

○目標額	一般募金	269,927千円
	地域歳末たすけあい募金	81,051千円
	NHK歳末たすけあい募金	8,000千円
	赤い羽根テーマ募金	7,500千円
	合 計	366,478千円

(2) 既存の募金手法の取組

ア 一般募金

実績：242,953千円余（前年度：281,448千円余）

(ア) 戸別募金

実績：180,381千円余（前年度：184,266千円余）

市町共同募金委員会への募金資材の斡旋や取組への支援を行うとともに、マスコミへの資料提供やポスター等による広報活動を行いました。

(イ) 法人・職域募金

実績：34,049千円余（前年度：37,078千円余）

市町共同募金委員会では法人募金及び職域募金の推進を図るとともに、県共募では市町共同募金委員会との役割分担による職域募金の呼びかけや募金百貨店プロジェクトの推進等を図りました。

(ウ) 街頭募金・イベント募金

実績：3,329千円余（前年度：12,327千円余）

街頭募金やイベント募金は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため縮小した実施となりました。

(エ) 学校・子ども会募金

実績：4,523千円余（前年度：4,714千円余）

学校での募金や、県子ども会連合会と連携して組立式募金箱の提供による募金活動を推進しました。

(オ) その他

実績：20,668千円余（前年度：43,063千円余）

個人や団体、企業などから、募金や物品寄付などが寄せられました。

イ 地域歳末たすけあい募金

実績：75,787千円余（前年度：78,791千円余）

各市町共同募金委員会では、歳末に支援が必要な方々のために募金活動を推進しました。

ウ NHK歳末たすけあい募金

実績：8,941千円余（前年度：6,378千円余）

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため開始式は実施できませんでしたが、放送による募金の呼びかけや山口放送局への募金受入窓口の設置により、多くの方から募金が寄せられ、前年度を上回る実績となりました。

(3) 新たな募金手法

ア 赤い羽根テーマ募金

実績：6,280千円余（前年度：4,905千円余）

赤い羽根テーマ募金取組団体を募集し、認定団体自らが赤い羽根を掲げて募金運動を推進しました。

イ 募金百貨店プロジェクト（法人募金の内数）

実績：5,970千円余（前年度：7,952千円余）

“寄付つき商品・企画”を販売し、売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付していただく取組を推進しました。

ウ UMOUプロジェクトin山口（法人募金の内数）

実績：637千円余（前年度：406千円余）

不用になった羽毛製品の回収による「UMOUプロジェクト」の取組を推進しました。

2 共同募金運動推進のための取組

(1) 福祉教育による寄付文化の浸透

これまで実施してきた小・中学生、高校生を対象とした、「赤い羽根出前授業」については新型コロナウイルス感染症の感染防止を図るため実施できませんでしたが、子ども会を通じた募金活動については組立て式募金箱の提供により実施することができました。

(2) 赤い羽根のPR

ア 赤い羽根オープニングイベント（10月1日）

新型コロナウイルス感染症に対応するため、規模を縮小し、山口県社会福祉会館で実施しました。

イ 寄付金贈呈式や助成交付式などを活用したPR

コロナ禍のため助成交付式は実施できませんでしたが、寄付金贈呈式については、可能な範囲で実施しました。

ウ 赤い羽根着用の働きかけ

金融機関の窓口職員やマスコミ関係者など、地域住民と接する機会の多い業種の方に対して、運動開始時の赤い羽根着用を働きかけました。

エ オリジナルバッジ等によるPR

レノファ山口FCの協力を得て、赤い羽根レノ丸バッジ等を製作し、PRに努めました。

(3) 遺贈・相続寄付の取組

遺贈や相続等について相談等を受ける税理士、司法書士、行政書士及び弁護士に、遺贈・相続寄付の周知を図るため、それぞれの県域団体を訪問してパンフレットの配布等の依頼を行いました。

3 地域ニーズを反映した助成

共同募金の使命である地域福祉の充実を図るため、地域ニーズを的確に把握して助成を行うとともに、助成した活動の内容や成果をホームページに掲載しました。

(1) 県域助成

ア 公募助成

実績：41件 37,470千円（前年度：40,840千円）

きらめき財団が開催する助成事業説明会でのPRや関係先への通知、ホームページでの広報等を通じて適正な助成となるよう努めました。

また、より適切な助成を行うことができるよう、助成要綱及び助成基準の見直しを行い、令和3年度から施行することとしました。

イ 新型コロナウイルス感染症により困難を抱える方々への助成

新型コロナウイルス感染症の流行により、生活に困難を抱える方々を支援するための助成を行いました。

実績：113件 25,249千円

(7) 緊急助成事業による支援

実績：1件 3,000千円（新規）

災害等準備金取崩金を活用して、生活に困難を抱える家庭1000世帯に食料品を提供するフードバンク山口の活動を支援しました。

(イ) **赤い羽根子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン**

実績：70件 11,499千円(新規)

中央共同募金会の呼びかけに応じて、6月と9月の2回にわたり、生活が困難な家庭などを支援する団体に対して助成を行いました。

(ウ) **コロナ禍特別助成**

実績：42件 10,750千円(新規)

コロナ禍で日常生活に困難を抱える子どもと家族を継続的に支援するため、お正月のある冬休みや新年度を迎える春休みに重点的な取組を促進するための助成を実施しました。

ウ **赤い羽根テーマ募金**

認定団体が自ら赤い羽根を掲げて募金活動を行い活動資金を確保するテーマ募金を実施しました。また、これまでの実施要綱を見直し、令和3年度から施行することとしました。

(7) **県域テーマ募金**

実績：5団体 4,545千円余(前年度：3,167千円余)

広域的に活動する団体に対して助成を行いました。

(イ) **地域テーマ募金**

実績：4団体 1,735千円余(前年度：1,738千円余)

市町で活動する団体に対して各市共同募金委員会から助成を行いました。

(2) **地域助成**

実績：189,552千円余(前年度：176,319千円余)

市町共同募金委員会において小地域福祉活動(地区社会福祉協議会、自治会等)への助成を行うとともに、新たな地域課題を踏まえた活動への助成を促進しました。

(3) **地域歳末たすけあい助成**

実績：54,226千円余(前年度：58,115千円余)

各市町共同募金委員会において、高齢者や障害者などの支援が必要な方々に対して歳末の支援を行いました。また、地域助成財源の一部を充当しました。

(4) **NHK歳末たすけあい助成**

実績 4,481千円余(前年度：4,088千円余)

児童養護施設や障害児施設の子どもたちへのお年玉プレゼント、児童養護施設を退所する児童の自立を支援する助成などを行いました。また、県域公募助成財源の一部を充当しました。

(5) 使途の明確化

共同募金の使い道が寄付者に明確に伝わるようにするため、ホームページへの「ありがとうメッセージ」の掲載、コロナ禍における緊急支援に関するパンフレットの作成などに取り組みました。

(6) 配分委員会の開催等

募金の適正な配分に向けて、配分委員会の開催や、配分委員による現地調査及びヒアリングを実施しました。

ア 配分委員会の開催：会議2回、小委員会1回、書面審査2回

イ 現地調査：13団体、4日間

ウ ヒアリング：25団体、6日間

4 組織運営の確立

本会の適切な運営を行うために、理事会及び評議員会等を定例的に開催するとともに、市町共同募金委員会との緊密な連携により、共同募金運動の一層の推進に努めました。

また、職員の資質向上を図るための研修等について積極的に参加しました。

(1) 理事会及び評議員会の開催

ア 理事会：6月（書面表決）、9月8日、3月19日

イ 評議員会：6月（書面表決）、9月17日、3月29日

ウ 市町共同募金委員会事務局長・担当者会議

7月10日（新任者研修）、8月27日、10月29・30日（オンライン）、
2月26日（オンライン）

(2) 研修会への参加

職員の資質向上を図るため、研修会等に積極的に参加しました。

ア 中央共募意見交換会（オンライン）6月23日、7月8日、12月15日

イ 中央共募都道府県職員研修会（オンライン）1月21・22日

(3) 市町共同募金委員会への支援

市町共同募金委員会を支援するため、オンライン会議やウインドウズ10に対応できるパソコンの整備を行いました。(13市町共同募金委員会)

また、市町共同募金委員会の共同募金運動を推進するための活動を共同募金運動推進強化特別支援事業により支援しました。(13市町共同募金委員会)

(4) 県社会福祉協議会との連携

県社会福祉協議会の事業の円滑な推進に向けて、助成に当たっては「第6次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画」に沿ったヒアリングを実施しました。

5 その他の取組

(1) 災害等準備金の積立及び拠出

被災地復興の一翼を担うボランティアセンターの設置・運営等を支援するための準備金を積み立てるとともに、「令和2年7月豪雨災害」の被災地を支援するために準備金の一部を取り崩して拠出しました。

また、被災者を支援する義援金の募集も行いました。

災害等準備金積立額：10,018千円

拠出額：2,000千円

義援金取扱額：1,650千円余

(2) 被災者への見舞金の支給

県内の火災等による住居の喪失や死者の発生に対して見舞金を支給しました。

実績：85件 1,510千円

(3) 民間資金による助成事業への協力

地域福祉を推進するための民間助成事業について、推薦等の協力をしました。

- ・中央競馬馬主社会福祉財団助成事業：3件 6,120千円
- ・車両競技公益資金記念財団：2件 1,049千円
- ・毎日新聞西部社会事業団：1件 100千円

(4) 受配者指定寄付金

指定した社会福祉法人等の公益法人に寄付をすることができる受配者指定寄付金の受入を行ないました。

実績：1件 1,000千円

(5) 共同募金協力者等に対する顕彰

共同募金運動の推進に功績のあった個人や団体を顕彰しました。

ア 厚生労働大臣表彰（２人、２団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	村田 一男	宇部市	
	佐子 吾郎	防府市	
奉仕団体	国際ソロプチミスト下関	下関市	
	秋芳ボランティア連絡協議会	美祢市	

イ 中央共同募金会会長表彰（２人、１団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	木下 昇	宇部市	
	友松 和子	下松市	
優良地区・団体	山陽小野田市共同募金委員会	山陽小野田市	

ウ 山口県知事表彰（２人、２団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	井原 八郎	宇部市	
	國村 マチ子	柳井市	
奉仕団体	柳井広域仏教会	柳井市	
	株式会社ナベル 山口工場	阿武町	

エ 山口県共同募金会会長表彰等（３０人、１６団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	山縣 熙	宇部市	
	朝倉 孝吉		
	星出 和雄		
	佐々木美智子		
	梶井 隆		
	久保八重子	萩市	
	中村 友恵		
	寺川 育乃		
	秋本 茂之	防府市	
	古田 源治		
	伊藤 博之		
	久保 哲二		
	橋本 正人		
	正長 市子		
	泉 幸		
	中村 征子	下松市	

	山田 節子	岩国市	
	原田 暎子		
	小川 稲恵		
	福田 美雪	柳井市	
	松村 行郎	平生町	
	吉村 正憲		
	長安 秀明		
	寶城 俊成		
	小島 康司		
奉仕団体	有限会社 みかわ	岩国市	
	株式会社 ピーコック		
	有限会社 花舎		
	株式会社 トラスト		
	合同会社 ほけんプラザ		
	合同会社 アクト・スリー		
	株式会社 街づくり岩国		
	有限会社クリーンホーム		
	岩国市子ども会連合会美川支部		
	周東町自治会連合会		
	周南市立福川南小学校	周南市	
	山口県立南陽工業高等学校		
	山口県立新南陽高等学校		
周南市立高水小学校			
社会福祉法人阿武福祉会	阿武町		
従事者	折中 光雄	柳井市	
	杉森 定夫		
	須子 豊美	和木町	
	平田さゆり	田布施町	
個人感謝	梶山シモエ	岩国市	
団体感謝	錦町農産加工株式会社		